Transmisser™

このたびは当社、アースクエイカーデバイセスのトランスミッサー、レゾナントリバーブを購入して頂きありがとう御座います！ご使用の際にこの説明書を読んで頂けると音決めの際のノブのセッティング等、素早く対応出来ると思いますので是非お読みください。

トランスミッサーはモジュレーションを搭載したリバーブです。さらにその信号はレゾナントフィルターを通過して出力され、通常のリバーブでは得られなかった宇宙的で壮大なリバーブを体験出来ます！もともと薄く掛けたり、ビンテージのリバーブの音を求めて開発したものでは有りません。外部エクスプレッションペダルを使用してリアルタイムでフィルターをコントロールする事を強くお勧めします。言葉では説明出来ない様な異次元な空間に引きずり込まれるでしょう！

コントロール

上段のDecay, Darkness, Freqがリバーブのキャラクターの設定になります。

Decay: リバーブの長さの設定。1秒からほぼ無限まで設定可能です。

Darkness: リバーブのトーンの設定。左に回す毎に明るく、右に回す毎に暗くなります

Freq: リバーブに掛かるレゾナントフィルターのフリークエンシーの設定。右に回すと高く、左に回すと低くなります。こちらの設定がトランスミッサーの最大の特徴になります。こちらは外部エクスプレッションペダルを使用して、リアルタイムでフィルターをコントロールする事が可能です。

下段のWarp, Rate, Mixでトランスミッサー全体の設定になります。

Rate: モジュレーションの速度の設定。通常のモジュレーション付きリバーブのモジュレーションと違い、狭いレンジで音全体にモジュレーションを掛けるのでかなりユニークな物になっています。左に回すと遅く、右に回すと速くなります。モジュレーションはリバーブ音だけで無くFreqとDarknessの設定にも影響します。下段のWarpの設定と深く関わってきますので、同時に調整してみてください。

Warp: こちらはsystem slew control（システムクロックの早さの設定）で、フィルターの深さの設定になります。左に回す毎によってフィルターが深く、反響も大きくなり、残響音の長さが増すと同時に暖かくなり、モジュレーションの広がりが大きくなり、出力音全体が柔らかい物に変化します。右に回す事によってよりタイトな音色になり、出力音全体にまとまり感が出ます。

Mix: 原音とエフェクト音の調整。右に回す事によってエフェクト音の量が増します。

Expression Pedals

当社ではMoog社製、EP-3を推奨しております。EP-3をご使用の際はアウトプットの調整を最大にしてご使用ください。インターステーラーオービターは上記の機種以外のエクスプレッションペダルでの使用は保証しておりません。

電源

トランスミッサーは９V、ACアダプターで2.1mmのセンターマイナスのアダプターで使用出来ます。デイジーチェインやトランス方式でないパワーアダプター等の使用ではノイズが乗る事が有りますので当社では推奨しておりません。また9V以上出力する電源は使用しないでください！

接続方法

1. ご使用の楽器、又は前段のエフェクターのアウトプットからトランスミッサーのインプット（正面からみて右側）へ接続してください。
2. トランスミッサーのアウトプットから次の段のエフェクター、もしくはミキサー、アンプ等のインプットへ接続してください。
3. ９Vバッテリーかトランス方式の９V、ACアダプターでパラレル接続をせずに電源を供給してください。
4. フットスイッチを押し、LEDが点灯すればオン、LEDが消えればオフになります。
5. ご希望のセッティングでトランスミッサーの異次元なリバーブをお楽しみください！

消費電流
70mA

スイッチ

この製品は電子式のリレースイッチを使用していますので、電源無しの状態では信号は出力されません。

© 2018 EarthQuaker Devices LLC | http://jp.yamaha.com/support/other_brands